

## 生殖工学研究会 SSRE 2007年シンポジウム (予告)

日時：2007年3月10日(土) 9:30開演

場所：明治大学駿河台校舎リバティータワー

東京都千代田区神田駿河台1-1、Tel: 03-3296-4545

参加費：2000円(学生1000円)

### I. 記念シンポジウム

1. 「SSRE 創立10周年を記念して」  
竹島 勉 (ヒューマン資源バンク)
2. 特別講演 「生殖工学の進歩の原点」  
尾川 昭三 (明治大名誉教授)
3. 特別講演 「生殖工学の医学領域への貢献」  
田中 温 (セントマザー産婦人科医院)
4. 特別講演 「ヒト抗体産生動物作製から抗体医薬開発へ」  
石田 功ら (キリンビール医薬フロンティア研究所)

### II. 第9回生殖工学シンポジウム

テーマ：卵母細胞形成の人為的制御へのアプローチ

1. 「ヒト ART のための新しい培養・評価システムの研究・開発」  
水野 仁二 (乾マタニティクリニック)
2. 「イヌ卵巣の凍結保存と移植」  
鈴木 宏志 (帯広畜産大原虫病研究センター)
3. 「異種間移植を利用した未成熟生殖細胞の成熟と胚発生」  
金子 浩之ら (農業生物資源研究所)
4. 卵母細胞と顆粒膜細胞がつくる微小環境：in vivo モデル」  
平尾 雄二 (東北農業研究センター)
5. 総合討論 座長 柏崎 直巳 (麻布大獣医)

問い合わせ：生殖工学研究会 (SSRE) 会長 竹島 勉

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-1-901

Tel: 03-3370-5731 Fax: 03-3370-5732

E-mail: ssre.ogawa@nifty.com

## **Call for SSRE Symposium**

***The editorial board of JRE requires your contribution to organization of 2006 Annual Symposium. We invite the members to bring your idea or request into the theme or topics of the symposium to ensure fruitful activity of the SSRE***

**Contact to Shyoso Ogawa, SSRE, 901 St NagataniBldg.,4-52-11  
Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo. Tel 03-3370-5731  
Fax 03-3370-5732**

## **Journal of Reproduction Engineering (published November 18, 2006)**

**Edited & Published by Tsutomu Takeshima, SSRE Office  
Printed by Bunkado**

**3-3-8,nishijyo,suzuka-city,MIE 513-0809,Japan  
Publishing Office of SSRE; 901 St Villa Nagatani Bldg., 4-32-11  
Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan  
Fax 03-3370-5732, e-mail ssre.ogawa@nifty.ne.jp**

# Society for the Study of Reproduction Engineering(生殖工学研究会)会則

## 第1章 総則

### 第1条 (名称)

本会は、「Society for the Study of Reproduction Engineering」と称する。

### 第2条 (目的)

本会は、生殖工学の研究成果に関連する情報交換およびその成果の普及を図ることを目的とする。

### 第3条 (本部および事務局)

本会は、学会本部および事務局を東京都新宿区西新宿4-32-11-901に置く。

## 第2章 事業

### 第4条 (事業)

本会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催と会誌の発行
- (2) 資料および情報の提供
- (3) その他、本会の目的を達成するための事業

## 第3章 会員

### 第5条 (会員)

本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 生殖工学に関する研究に従事している者、またはこの会の主旨に賛同する者で、会誌を購読するために対価を納入する者および学生(大学院生を含む)とする。
- (2) この会の主旨に賛同する者で、学術集会に参加するため対価を納入する者および学生(大学院生を含む)とする。
- (3) 賛助会員は、この会の主旨に賛同する団体および会社とする。

### 第6条 (入会)

この会に入会しようとする会員は入会申込書に所定の事項を記入し、事務局に申し込むものとする。

### 第7条 (脱会)

会員が次に定める何れかに該当し、役員会で承認された場合は会員の資格を喪失する。その場合、会費は返納しない。

- (1) 会員本人が脱会を届け出た場合。
- (2) その他、本会則に違反し、あるいは本会の名誉を著しく毀損した場合。

## 第4章 役員

### 第8条 (役員)

本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名
- (5) 幹事 若干名

### 第9条 (責務)

役員の様割は次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 理事は、この会の重要事項を審議する。
- (4) 監事は、本会の業務および会計の執行について監査する。
- (5) 幹事は、本会の会務に従事する。

#### 第10条（選任と任期）

役員を選出は、次によって行う。

- (1) 会長および副会長は、理事の互選による。
- (2) 理事および監事は、会員の中から選出する
- (3) 幹事は、会員の中から会長が委嘱する。
- (4) 役員の任期は、2年とするが、再任を妨げない。

### 第5章 会議

#### 第11条（会議）

この会の会議は、役員会とする。

- 2 決議は、出席総数の過半数を必要とする。

#### 第12条（役員会）

役員会は、会長が召集し、事業、会の予算、会則の変更、その他の会務を審議決定する。

- 2 会長は、原則として毎年1回、役員会の決議事項を会員に対し報告する。

### 第6章 会計

#### 第13条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第14条（経費）

本会の経費は、会費および寄付その他をもって、これにあてる。

#### 第15条（会費）

購読費は、年額3,000円とする。学生会員の購読費は、年額1,000円とする。賛助会員の会費は、1口以上とし、1口の年額は10,000円とする。

- 2 学術集会の参加費は、主催者が決定することとする。

#### 付則

1. 本規約は、1998年11月1日に施行する。
2. 2000年9月25日に一部改正、同日より施行する。
3. 2002年11月16日に一部改正、同日より施行する。



研究開発分野のトータルサプライヤー  
株式会社 町田医理科

ごあいさつ

当社は、創業以来、研究、開発、生産、検査、教育、医療に携わる皆様が、必要とされる商品を必要とされる時にお届けできるよう、社員一同努力して参りました。

近年、私たちの置かれている環境は急速な変化を遂げております。技術革新の進行は新しい可能性の世界を広げ、これまで以上に多岐にわたる機能が求められています。私たちは多様化するニーズにリアルタイムにお応えすべく決意を新たにしております。

今後、一層の精進をいたす所存でございますので、ご愛顧を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 草野 徳

株式会社 町田医理科  
東京都町田市玉川学園1-17-15  
Tel: 042-725-9103, Fax: 042-725-9094

---

協賛会社

- 株式会社 成茂科学器械研究所  
東京都世田谷区南烏山4-27-9  
Tel: 03-3308-8233, Fax: 03-3308-2005
- ホワイト食品工業株式会社  
東京都新宿区西新宿4-32-11-701  
Tel: 03-3299-4433, Fax: 03-3299-4010

METTLER TOLEDO

基礎研究から製造・品質管理まで

# 世界標準の トータルソリューション&サポート

をご提供いたします。

## 分析機器ソリューション

- 分析機器(天びん・pH計・熱分析・水分計)
- 自動合成機&インシチュセシサ
- 化学分析
- LabX ソフトウェア

コンピュータシステムバリデーション可能な  
FDA 21 CFR Part11対応  
天びん管理ソフトウェア



## バリデーション / 品質保証 / 校正サービス

### ～バリデーション～

コンピュータシステム等のバリデーション

### CSV-Pac

(コンピュータシステム  
バリデーション)

### ～機器の適格性評価

(DQ, IQ, OQ, PQ, MQ)～

それぞれの適格性の  
検証と文書化

「独自のソリューション  
を提案して欲しい!」

### IPac

(アイバック)

### EQ-Pac

(イーキューバック)

### ～発行書類～

品質マネジメントシステムの  
基本である  
校正証明書の提供

「適格な品質を保持したい!」

### ～計量の正確さ～

どのお客様にとっても  
不可欠な要素

「正確な計量は不可欠だから、きちんとしたい!」

J IAC-MRA - A Japan  
JCS 不確かさ付き校正証明書

不確かさ付き  
校正証明書

検査結果  
証明書

METTLER TOLEDO

## メラー・トレド株式会社

お問い合わせ先

東京本社(カスタマーサポートセンター)

TEL: 03-3222-7111

FAX: 03-3222-7115

©Mettler-Toledo K.K., 01/2007 All rights reserved

<http://www.jp.mt.com>

E-mail: [sales.admin.jp@mt.com](mailto:sales.admin.jp@mt.com)

■東京本社  
〒102-0075  
東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町ビル4F

■大阪支社  
〒541-0053  
大阪市中央区本町2-1-6 堺筋本町センタービル15F